

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホームおおやちの家

作成日: 平成 26 年 2 月 18 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束については、業務を通じた指導を行う事で職員は理解しているが、外部研修の報告は資料供覧に留まっている。全ての職員が正しく理解できるように、今後は定期的な内部研修や復命研修等の計画について検討が必要である。	・無意識に精神的な身体拘束を行っていないか、全職員で振り返ります。	①身体拘束、高齢者虐待に関する内部研修を年に一度は行い、全職員で理解を深める。 ②介護施設における身体拘束や虐待に関する事例研修を行うなど役職職員でグループワークを行う。 ③組織として、これらにつながる要素がないか、事務会議を通じて話し合う。 ④職員のストレスによるものが原因となることも含め、全職員年に2回以上の個人面談を行い、職員の育成、また思い悩むことに対し理解をし、良い組織、チームワーク作りに徹する。 ⑤外部研修に積極的に参加し、最新の情報を取得する。	6ヶ月
2	7	虐待防止については、業務を通じた指導を行う事で職員は理解しているが、外部研修の報告は資料供覧に留まっている。全ての職員が正しく理解できるように、今後は定期的な内部研修や復命研修等の計画について検討が必要である。	・無意識に精神的な虐待行為を行っていないか、全職員で振り返ります。	同上	6ヶ月
3	24	入居後も本人からの聞き取りや日常生活の中からこれまでの生活歴や習慣を把握し、新しい情報や気づきを積み重ねて、より本人らしい生活が支援できるように取り組んでいくことを期待したい。	・6ヶ月ごとにフェイスシートを見直し、利用者情報を追加します。	①計画作成者同士で今後の計画作成に関する業務の確認を行い、改善を図る。 ②上記に基づき必要な書類を作成し、全職員で周知する。 ③実際改善を図り実行したものに対して、半年後を目処に再度不足がないか、検討する。	12ヶ月
4	40	食事は日々生活の中で最も楽しみな日課であり「食事は静かに食べるもの」との入居者の意向もあるが、より和やかで家庭的な楽しい食事の時間作りへの更なる取り組みに期待したい。また、昔ながらのちまきや笹団子作り等、一人一人の力を引き出せる機会を増やしていくことを期待したい。	・両ユニット合同食事会やバイキング、外食等「食のイベント」を増やします。(2ヶ月に1度)	①入居者に対して、食事に対するアンケートを実施し、希望にあった食環境を検討する。 ②昔ながらのおやつ作り。 ③陽気の良い季節は、2ヶ月に1度外食または、季節に準じた食に関連する行事を企画する。 ④旬の野菜を取り入れ、食事内容を工夫する。	12ヶ月